

寺  
ごよみ

四月

一日

お講 下村

八日 うらやま日曜学校開校式

この日はちょうどおしゃかさまの誕生日。甘茶でお祝いするとともに、新学期を迎えて、新しく一年生になられたお子さんの入学式も行います。入学申し込みは当日で結構です。

十六日 お講・栗虫

十八日 善巧寺婦人会初会合

二二日 花の初まいり お寺の御堂は花いっぱい！ことしで三回

若い奥さん、月に一度は勉強しましょう。詳しくは六頁に。

二二日 花の初まいり お寺の御堂は花いっぱい！ことしで三回目を迎えるこの催しは、他では見ることのできないすばらしいものになりました。小学校へ上る前のお子さんは是非この日にお寺参りをして下さい。受式料は二千円です。



# 寺報 善巧

発行

938 富山県下新川郡  
宇奈月町浦山497  
白雪山 善巧寺  
電話(07656)(5)-0055

## 花の初まいり

四月二十一日午前十時より

☆当日おまいりバス運行  
初参式 花まつり 幻灯・縁日・撮影会

善巧寺の門徒は、大多数がお百姓さんで、これは、戦後の社会構造の急激な変化で、その様相が一変したとは云うものの、根本的に変つてないと思われます。寺詣りにおいてになる方々の大部分は、美しい彩りの小布れをつぎ合わせて作った袋に、御仏供米を容れておりでなり、そのお米は、黒部扇状地帯の土地からとれた越中米なのです。善巧寺は、農村の中心

## 農繁期を迎えて

野島好二氏の「黒部川の自然と文化」には次のように書かれています。「黒部川扇状地は、黒部川にかかる愛本橋を扇頂として富山湾に扇端する、半径方向の最大距離十三・五キロメートルに及び、その流域面積約六五〇平方キロメートルの黒部川の河口部に展開する美事な臨海扇状地をいいます。」元禄二年と云うと、今から二百九十年の昔ですが、其の頃、松尾芭蕉がこの黒部扇状地を通っています。「くろべ四十八瀬とかや、数しらぬ川をわたりて」と、「おくの細道」に叙述して居り、恐らくこのあたりで、「わせの香や分入右は有磯海」と咏んで居ります。当時はその流れの位置が現在と變つていたにしろ黒部川とその田を耕やす農民は今日と同じであった筈で、此の四十八と云う数字は弥陀の四十八願のそれではなかつたかと勝手な想像をする私であります。

今年は例年にない暖冬で花が咲くのも早いのではないかと思われます。善巧寺の花祭りを飾るチューリップも、四月の声を聞くと共に可愛い薺を持ち始めていることでしょう。田圃に耕耘機の彈けるような爆音がひびいて来る日も近づいています。

昔の善巧寺の庫裡には二つの大きな囲爐裡があり、冬の間は何時も、何人かの門徒さんが樹木を折つてくべながら四方山の話に花を咲かせていました。その話題の中は、農繁期を迎えての農作業の話で、季候の話、稲の品種の話、農薬、農機具の話、米価の話、そしてこれは戦時中のことですが、供出の話などなど、すべて、農業に関するあれこれで、農業にうとい私でさえ、色々と聞きかじりの農業知識を知らぬ間に覚え込んだものです。

そして、この方達の田圃は、所謂黒部扇状地の範囲にあります。黒部川扇状地は、純朴な、勤勉な農民魂の所有者であり、何よりも、親らん聖人のみに可愛い薺を持ち始めていること教えのお育てにあざかって、今日に至つた農家の方を中心として居るのであります。

# 明教院僧鎔師と空華廬(一)

越中は真宗の学問が非常に盛んで、学国越中と称されたほどたくさんの学僧が出ています。そのほとんどをなしたのが、明教院僧鎔師によって創設された空華廬という学塾です。この明教院僧鎔師は、皆様方のお寺・善巧寺の十一代の住職を務められた方です。

僧鎔師は、お西の学問の中心道場学林（竜谷大学の前身）で極要な地位にあつた方で、亡くなら

れでから二百年近くたった今日でも、その学説は学界に大きな影響を与えてています。

ところで、この僧鎔師は、実は私の自坊明光寺から善巧寺へ入寺なさつた方であります。ですから、

私も皆様方と同様、師を大いに誇りとしている一人なのです。昨年

の十月に富山本願寺を会場として、

勸学寮主催の竜谷教学会議という

学会があり、全国から多数の学者

方が参加なさいました。その折、

地元で誰か空華廬の紹介をするよ

うにとの話がありました。不可思

議の因縁と申しましようか、その



土井了宗師

この三月の聞法旅行で明光寺にお参りしたときの写真。聞き入るのは善巧寺の門徒さんたちです。

今回からしばらくは、若き日の明教院が学んだ上市明光寺の「明教院僧鎔師と空華廬」と題して、ご講話をいただきます。

空  
華  
と

明教院  
僧鎔伝

役が僧鎔師有縁の私に当り、「空華廬の創設とその後の発展」と題し、研究発表をさせて頂きました。

にまとめて頂きます。  
僧鎔師は、今から二五七年前の亨保八年という年に、現在の富山さらに学会終了

後見学地も、是非僧鎔師のお墓のある善巧寺と薫育の寺、明光寺をとうことになり、

大勢の方々が訪ねて下さいました。こうしたことを機縁として、改めて僧鎔師の遺徳を深く味わせてもらいました。

このたび、善巧寺さんの御依頼により、その節の話の一端を簡単

て下さいました。こうしたこと

り、名を靈觀と改めました。この

寺（上市町新屋）の靈潭師に見いだされ、囁告されて同寺の養子とな

り、名を靈觀と改めました。この

才の時、明光

寺の経緯について、『清流紀談』

という本には、「道端で水遊びをしていた与三吉を見た靈潭

は、見どころがあると有

無をいわさず輿に乗せ、

寺へ連れ帰った。それを

知った両親が、あわてて

たずねて行つたところ、

既に剃髪してしまつた後

であつた」と伝えていま

す。十才の小兒ながら、

後年の大学匠鎔師の片

鱗をうかがわせるものが

あつたのでしょうか、そ

の偉器を見抜いた靈潭師

も又、凡僧ではなかつた

と云えましょう。

靈潭師は学林の二代能化（一派の学頭）知空師の門人で、越中では永見の安貞師とならん最も

の

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

## 三法要

宗祖 700回忌  
御誕生 800年  
明教院 200回忌

## “おまいりバス”初まいりに運行



この日の理事会は、定刻一時に開会。勤行のあと新築の奥座敷「空華殿」と理事長（住職）のあいさつ。

「おかげさまで庫裡の増築の完成を見ることができました。門徒各位の

欲的な寺院活動を進める決心を決めました。この日の理事会は、定刻一時に開会。勤行のあと新築の奥座敷「空華殿」と理事長（住職）のあいさつ。

努力のたまものと感謝しています。ところで、ご心配をかけています。私の体も、ほぼ回復しまして、これからはなるべく普段と変わらぬ寺務活動をしてゆこうと思います。しかし、血圧には心配ごとがあります。しかし、血圧には心配ごとがあります。しかし、血圧には心配ごとがあります。

なごやかな雰囲気の中で、決算報告にくわしくは別表の通りですが、財源確保の上から借入金返済は、五十三年度は五百円にとどめ、残り九百万円は五十四、五年度に回ります。つづいて予算の審議にうつりましたが、五十四年は、教化、総務共に予算を最少限に切りつけ、借金返済につとめることが確認され予備金と

## 春の理事会開く

3月25日



この境内をうつくしく

## 三法要特別会計 53年度決算報告

## &lt;歳 入&gt;

①52年度繰越金	9,322,900
②53年度一般懇志	5,912,500
③借入金（農協より）	10,000,000
〃（特別懇志より）	4,000,000
合 計	29,235,400

## &lt;歳 出&gt;

1.教化伝道費（予 算 懇 志）	200,000
○日曜学校	50,885
○初まいり	89,800
○落語会	415,735
○教材費	187,580
○事務費	10,000
小 計	754,000

2.総務費（予 算）	800,000
○寺報費	177,000
○事務費	278,340
○会合費	53,360
○謝礼費	180,000
○雜費	178,622
小 計	867,322

## 3.建設費（予 算）

## ○建設費

(- 2,000,000)

## 4.予備費

## ○借入金返済(利子共)

5,390,666

## ○教化赤字補てん

190,000

## ○総務赤字補てん

67,322

## ○建設赤字補てん

2,000,000

## ○明教院文庫設立

410,000

## ○雜費

177,412

## 小 計

8,235,400

## 残金総額

1,000,000

①53年度繰越金	1,000,000
②54年度一般懇志	6,000,000
③雜収合計	100,000
7,100,000	

①教化費	150,000
②総務費	500,000
③借入金返済金	5,350,000
1,100,000	
7,100,000	

④予備合計	7,100,000
-------	-----------

①教化費	150,000
②総務費	500,000
③借入金返済金	5,350,000
1,100,000	
7,100,000	

④予備合計	7,100,000
-------	-----------

☆おまいりバスを運行  
つぎに、寺の行事にさらに多くの方がお参りできるようにと、今から“おまいりバス”的運行をはじめはとの声があり、手始めに四月二十二日の花の初まいりから実施に踏み切ることにしました。

Aコースが浦山新一愛本新一音沢内山一下立愛本。Bコースが上野一東狐一板屋一生地一柳沢中新一三日市。費用は往復二百円で時間はAコースが

第、路線をふやして石田、中陣、地区総代さんに必ず前もって連絡下さい。  
なお、この計画はメドがつき次入善などをも検討する予定です。以上、ことしも三法要をめざしてがんばりたいと思っております。

# 住職門徒総参拝 春の聞法旅行



満堂の総参拝



春の聞法旅行は昨年秋に大好評だった、明教院のみあととしての旅のアンコール。

意欲あふれる新門主の呼びかけて、いま本山へ

は、全国の寺の住職と門徒代表が総参拝をしています。

富山教区は三月八・九の二日間、無理をいって急ぎよ、尾沢初雄さん、藤沢正雄さん、本波貫一さん

の三人に参加していただき、若院と照行寺さんが同行。

「明日に向かってみんなで語ろう総参拝」を合言葉に、阿弥陀堂では二日にわたって明日の案内を考えるという討論会。来年に催される「伝灯奉告法要」の意義について総長の訴えがあり、新門主の熱い決意を聞かせていただき、参集した安芸、大阪、富山教区の三

生家 渡辺家



水橋の渡辺家——ここは明教院の生家。「ようこそ、家族総出の出迎えをうけ、

十八日午前五時半、善巧寺の本堂におまいりし、明教院のお墓にあいさつして二十人で出発。

水橋の渡辺家——ここは明教院の生家。

「ようこそ、

意欲あふれる新門主の呼びかけて、いま本山へ

は、全国の寺の住職と門徒代表が総参拝をしています。

富山教区は三月八・九の二日間、無理をいって急ぎよ、尾沢初雄さん、藤沢正雄さん、本波貫一さん

の三人に参加していただき、若院と照行寺さんが同行。

「明日に向かってみんなで語ろう総参拝」を合言葉に、阿弥陀堂では二日にわたって明日の案内を考えるという討論会。来年に催される「伝灯奉告法要」の意義について総長の訴えがあり、新門主の熱い決意を聞かせていただき、参集した安芸、大阪、富山教区の三

# 参拝

みあとしたいて：この二月から三月にかけて、三つの旅をさせていただきました。一つは春の聞法旅行——明教院をしのぶ旅。二つは宗祖をおおぐ総参拝。そして三つ目は、おしゃか様のみあとしたいてのインド仏蹟参拝旅行——まさにアラエカツタヤーであります。

三月十八・十九日の二日間の小旅行でしたが、徹底した聞法旅行で見物はなし。

十八日午前五時半、善巧寺の本

お座敷の仏だんで全員「讃仮偈」のおつとめ、茶菓の接待をうけてしばし渡辺さんをかこんで歎談。つづいて上市川のばかり新屋の明光寺へ。十一歳でこの寺の養子となり勉学にはげまれる明教院師をしのびながら、たつぱり一時間住職の土井了宗師のお話をうかがいました。「こんなお話をわたし

ちだけで聞かせていただくのはもったいない」という声もあって今回の寺報から数回にわたって住職に「空と華と」(二頁)の欄で、「明教院僧鎧師と空華廬」と題してご執筆願いました。

夜は大阪・高槻常見寺へ。若院とインド旅行と共にした若住職が出来たばかりのインドの八ミリ映画を上映、朝は境内にある空華の流れを汲む「行信教校」で記念写真。昼までたっぷり「ご縁」についての話を聴聞して、午後は本山へ。

ちょうどお彼岸のおつとめがはじまり、その樂の音を耳にとどめながら、明教院の墓のある大谷本廟へ。花を飾り、香をたき、みんなで声高らかに「讃仮偈」のおつとめをして、感激もひとしお。

帰りのバスの中は、見物抜きのこの聞法旅行のありがたかったことをみんなでもう一度かみしめ合つたことでした。



御影堂前

明光寺で住職と

いただくのはもったいない」という声もあって今回の寺報から数回にわたって住職に「空と華と」(二頁)の欄で、「明教院僧鎧師と空華廬」と題してご執筆願いました。

夜は大阪・高槻常見寺へ。若院とインド旅行と共にした若住職が出来たばかりのインドの八ミリ映画を上映、朝は境内にある空華の流れを汲む「行信教校」で記念写真。昼までたっぷり「ご縁」についての話を聴聞して、午後は本山へ。

ちょうどお彼岸のおつとめがはじまり、その樂の音を耳にとどめながら、明教院の墓のある大谷本廟へ。花を飾り、香をたき、みんなで声高らかに「讃仮偈」のおつとめをして、感激もひとしお。

帰りのバスの中は、見物抜きのこの聞法旅行のありがたかったことをみんなでもう一度かみしめ合つたことでした。



行信教校講堂で



勵学谷の明教院の墓



意気上がる阿弥陀堂





和 きみょう むりょう しゅによらい

おつと  
ことしに  
二ヵ所で  
ました。  
一つは  
習会。縦  
さんが、  
仏だんの  
かキチン  
めができ

一つは「浦山お經練習会」。総代の本波光雄さんが、門徒としてお仏だんの前で、なんとかキチンとしたおつとめができるよう:と



浦山市経練習会

地域の方々に呼びかけられて、毎日第一、第三土曜日に寺の集会所で練習会をはじめられました。もう一つは下村地区の練習会。こちらは地区の婦人会と老人会が中心となって、毎週土曜日に下村公民館で開催。いずれも土曜日のよるということで、指導の方は、若院と高島さん、神子さんの三人が交代で担当。熱気のこもった舞踏

ことしはチユーリップの開花が早そうなので四月二十二日の午前十時から「花の初まいり」を開催します。この初まいりは、子どもが生まれたことを喜び、お寺に初めておまいりをする行事です。

善巧寺婦人會

かねてお知らせしていました善巧寺婦人会の初会合を、いよいよ四月十八日午後七時半に開きます。この婦人会は善巧寺の門信徒の

若い婦人を対象に、心の輪を広げてゆこうというもので、月に一度の例会を持ち身近な問題の中から話し合いをすすめ、わかりやすい仏教講座やお作法、おつとめの仕方などを学んでゆきます。

田んぼのいそがしい時ではありませんが、意欲ある参加を期待しています。入会金は千円です。

覚えておきましょう。  
まず花を飾るわけですが、それは、お祇迦様が誕生されたところは、美しい花の咲きほころルンビニーの花園だったからなのです。そして甘茶をそそぐわけは、生まれたばかりのお祇迦様が天と地をさし「天上天下、唯我独尊、三界は皆苦なり、われまさにこれを

## 花の初まいり

ユーリップの花かぎりの美しさが評判となり、遠くは九州、広島などからも見学者にこられるほどの人気です。0歳から小学校前までの子さんに初参式を受けさせようと思われる方は受式料二千円を同封して至急寺にお申し込み下さい。

四月八日は花まつり—お釈迦様の誕生日です。

この日多くのお寺では花をかざつて誕生仏を安置して、それに甘茶をそいでお参りします。

古くからある行事ですが、なぜ



うらやま  
野休み  
落語会



さんかい。八つあんには二つ足りない  
けどまあいいや。何？足りない分は長  
いアゴで埋め合わせるって？結構だね  
アラ、他にもいるね。だれだい？ホ  
ホー、扇橋師匠！イキだね。よろしく  
たのみますよ。ウン、それに扇好サンも  
一緒かい。うれしいね。アラフツ！今  
年はもう一人いるよ。小三治師匠もはせ  
さんじるって？こりゃ大惨事だね。  
おあと六月十八日を、お楽しみに!!



6月18日  
午後6時  
善巧寺で  
開演!!



界は皆苦なり、われまさにこれを  
安んすべし」と高らかに叫ばれ天  
は感動して甘露の雨を降らせたと  
いわれます。その甘露の雨のまね  
ごとが、甘茶になつたんです。  
善巧寺ではこの花まつりを初ま  
りと合わせて四月二十二日に催  
します。ルンビニの園のスライド  
もできました。是非お参りを。



合掌